



アラビア半島の 歴史・文化・社会

全14回(予定)

古くから人類が居住する土地として、イスラーム発祥の地として、インド洋貿易をはじめとする東西交易の中継地として、また現代社会における経済・金融活動のセンターとして、さらには中東や国際政治における無視できない主体あるいは対象として、アラビア半島とそこにある諸国家は注目を集めています。

本公開セミナーでは、各専門分野で活躍する研究者を講師に招き、アラビア半島の過去と現在を様々な角度からとらえます。そして中東地域におけるアラビア半島諸国の特徴や、アラビア半島諸国と日本の関わりなどについて、考えていきます。

会場：東京大学駒場キャンパス

18号館4階コラボレーションルーム3 ほか

最新の情報は <http://park.itc.u-tokyo.ac.jp/UTCMES>まで。詳しくは裏面をご覧ください。

2019年10月以降の題目一覧(2019年9月17日現在)

- (6) 2019年10月5日(土) 16:00-17:30
中村覚(神戸大学大学院国際文化学研究所)
「途上国の内政と外交のリンケージに関する政治理論で解くサウディアラビア政治の構造とパターン」
会場: 18号館4階コラボレーションルーム1
- (7) 2019年10月12日(土) 16:00-17:30
千葉悠志(公立小松大学国際文化交流学部)
「湾岸メディアの歴史と構造」
会場: 18号館4階コラボレーションルーム3
- (8) 2019年10月26日(土) 16:00-17:30
齋藤純(ジェトロ・アジア経済研究所)
「中東ファミリービジネスの現状と事業継承」
会場: 18号館4階コラボレーションルーム3
- (9) 2019年11月16日(土) 16:00-17:30
近藤洋平(東京大学大学院総合文化研究科)
「涸れ川・灌漑用水路・淡水化工場: オマーンにおける水資源利用の歴史」
会場: 18号館4階コラボレーションルーム3
- (10) 2019年11月30日(土) 16:00-17:30
高尾賢一郎(中東調査会)
「サウジアラビアにおけるイスラーム的風紀の形成と維持」
会場: 18号館4階コラボレーションルーム3
- (11) 2019年12月11日(水) 16:00-17:30
保坂修司(日本エネルギー経済研究所)
「日本のエネルギー政策とアラビア半島」
- (12) 2019年12月14日(土) 16:00-17:30
松本弘(大東文化大学国際関係学部)
「イエメン内戦の背景と特質」
- (13) 2019年12月18日(水) 17:00-18:30
後藤真実(日本学術振興会)
「仮面文化から知る湾岸女性」
- (14) 2020年1月11日(土) 16:00-17:30
馬場多聞(立命館大学文学部)
「中世イエメンにおけるアラブとトルコとクルドとアブド」

*会場は、東京大学駒場キャンパス内です。題目は仮のものも含まれます。
また講演の順序や内容が変更になる場合があります。
最新のプログラム等については、東京大学中東地域研究センターのウェブサイト
(下記URL)をご覧ください。